

(二八四三)

天保十四年八月 佐位郡保泉村の農間賃機渡世証文〔B〕

(太) 大織糸借用申織賃渡世之事

右者、農間ニ家内者ニ大織賃ふとりばた渡世(機)付、大織糸「借用申処実正

ニ御座候、但シ出来次第差上」申候、時相場ときそうば之織賃御貸被下、其

上右之糸」猶又入替く末長ク御貸可レ被下候、譬年たとえ重り」如ケ

様成損失致しめつたいたし出来候共、加判方かはん与急度弁金きつとべんぎん可レ仕候、其元方江そこもとかた少

茂御損ヲ掛ケ申間敷候、仍而入置申一札、如くだんのごとしレ件

天保十四年卯八月

保泉村借主

又

内印

茂呂村三次郎後家ニ付代印

清

助印

下植木村

下城勇藏殿